



医療連携ニュース



2024年6月号

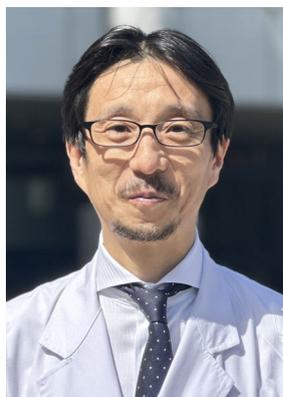
発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

向暑の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2024年6月号を発行いたしました。

先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター長 小田 真理、 医療連携室長 角田 隆俊

腹腔鏡下または国産手術支援ロボットによる最小侵襲手術(MIS)



東海大学医学部附属八王子病院

消化器外科 教授 金子 順一(かねこ じゅんいち) 医師

【専門分野】

肝胆膵外科、肝移植

【専門医・認定医】

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医・評議員、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医・評議員、日本門脈圧亢進症学会技術認定医・評議員、日本膵臓学会指導医、日本消化器病学会専門医・支部評議員、日本がん治療認定医機構認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、Fellow of the American College of Surgeons

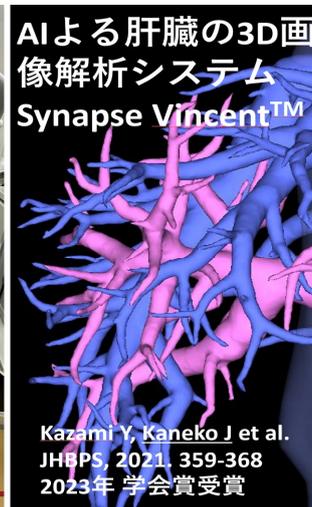
私は、約20年間、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科で修練を積み、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本門脈圧亢進症学会技術認定医、他を取得してまいりました。当院消化器外科肝胆膵外科は、年間肝または膵切除を約75例施行するハイボリュームセンターです。当科の最大の強みは腹腔鏡下手術を中心とした最小侵襲手術(MIS)で、入院期間短縮と早期社会復帰が可能です。さらに、今年度より国産手術支援ロボット「hinotori™」が導入されました。外科医は熟練医でも鉗子の先端が一定の緊張や加齢で不安定にゆれ動く”ぶれる”現象が見られますが、このロボットにより”ぶれない”正確な手術を提供致します。

皆様より内科・外科のどちらにご紹介いただいても、常にガイドラインに沿った最適な医療を提供いたします。そのためにキャンサー・ボードを強化し、近日中に肝胆膵センターを創設し、初診から手術または初回抗がん剤投与までの期間を従来の半分に短縮いたします。また、ゲノム診療や免疫チェックポイント阻害薬を含む進化した外科・抗がん剤治療を行えるよう多職種が連携した集学的治療を行います。その一方で、緊急手術が必要な救急疾患も断りません。ぜひご紹介ください。

今後も地域の医療機関の皆様とのチームの一員として、緊密な情報共有と迅速な対応をいたします。ご紹介いただいた患者さんの診療に全力で取り組み、皆様のご要望を常に取り入れながら柔軟に変化し、退院時の速やかなご報告、逆紹介とともに患者さんの笑顔をご一緒にお届けすることで、より一層、長期的な医療連携による信頼関係を揺るぎないものとしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



2024年4月導入
国産ロボット
Hinotori™



AIによる肝臓の3D画像解析システム
Synapse Vincent™

Kazami Y, Kaneko J et al.
JHBPS, 2021, 359-368
2023年 学会賞受賞

患者さんに応じたテイラーメイド方式のアブレーションを提供



東海大学医学部付属八王子病院
循環器内科医長 教授 森田 典成(もりた のりしげ) 医師

【専門分野】

不整脈、カテーテルアブレーション、デバイス植込み

【専門医・認定医】

日本循環器学会認定循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、日本内科学会認定総合内科専門医、ICD/CRT研修修了

平素より当院との病診、病病連携にご理解頂き、南多摩医療圏にて地域医療に携わる先生方には御礼申し上げます。

2024年度、当院循環器内科のご案内と小生の専門分野のご紹介をさせていただきます。

当院の診療3本柱は、吉町教授が率いる心臓カテーテルチームによる虚血性心疾患における冠動脈疾患へのカテーテル治療、閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療、小生が行う不整脈に対する薬物、非薬物治療(カテーテルアブレーション、デバイス植込み)、牛島講師を中心とした心臓リハビリテーションチームによる様々な心臓疾患に対する心臓リハビリテーションとなっています。虚血性心疾患に対しては急性期治療の提供のみならず、その後の予後改善を見据えた心臓リハビリテーションが一貫して提供され、外来までも引き継がれていることが特徴です。これにより新規の冠動脈疾患発症予防、心不全入院の回避につながっています。

小生は不整脈を専門分野としております。人口の高齢化で心房細動患者は増加の一途をたどり、2030年には本邦での心房細動患者は100万人に達すると推測されております。心房細動に対するアブレーション治療は当地域の医療機関の先生方にも浸透し、多くの患者様をご紹介頂いてまいりました。アブレーションの治療内容は、画一的とお考えになられる先生方が多いと思いますが、実際には医療施設、術者によって大きく異なります。小生の提供する治療内容は、

“最先端の知識に基づき、患者様ごとに治療内容変えて、最適と考えられるアブレーションを提供するテイラーメイド方式”です。特に持続性の心房細動に対するアブレーションでは画一的治療と小生の提供する医療との心房細動抑制率の差は大きくなります。より低侵襲かつ高い抑制率を求めべく治療方法を1-2年毎に変革させて、最善のアブレーションの提供に努力して参りますので、これまで同様、心房細動患者様のご紹介のお願いと、当循環器 内科をご活用頂ければと存じます。



医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。
(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。

なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: **月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00**

休診日: **日曜日・祝日、第1・3土曜日、12月29日～1月3日 ※2024年6月29日(土)は休診日です**

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30